

今年度も猛暑の中での自主研修会開催（丹後地区）

○丹後地区行政相談委員協議会（委員 10 名）による自主研修会は、今年も府下トップを切って開催しました。

日 時 平成 28 年 7 月 28 日（木）
午後 1 時 30 分～午後 4 時
場 所 みやづ歴史の館
参加者 京都行政評価事務所（花田所長、柳木課長、吉留係長、浅野推進員）
丹後地区行政相談委員（村岡委員、位田委員、吉岡委員、戸石委員、
中村委員、長田委員、岡本委員、堀口委員）

当日は、今年初の猛暑日となる気温 35 度の厳しい気象状況の中、委員 8 名と京都行政評価事務所の花田所長ほか 3 名の出席を頂きました。

○会場の宮津市安東理事より歓迎の挨拶を頂き研修に入りましたが、毎年、丹後地区協会の自主研修方式は①評価事務所による行政相談制度や委員活動に関する時事解説等の講話、②委員自身による取扱事案研修を主体として意見交換を大切にしております。



挨拶される丹後地区協議会会長村岡委員



挨拶される宮津市安東理事

・最初に、花田所長より「昨年度の国全体、また、府下の行政相談処理実績の内容」等についての報告、更には国民からの意見を元に本省での「行政苦情救済推進会議」を経ての身近なあっせん事例の解説等、国民の声が具体的に各分野の事業改善に果たしていることをお聞きしました。

・続いて、「個人情報保護と行政相談」について、昨年秋国会で成立した改正個人情報保護法の概要について、浅野推進員から今年 3 月の丹後地区協総会時に引き続き 2 回目の解説を頂きました。

○最後の研修は、この一年間の相談活動の中で各委員さんが受付けた主要な事例を出しあい、お互いに意見交換する中で共通の認識や問題点について理解を深めていこうとするもので、出席委員全員からそれぞれの事例についての報告や疑問、助言がありました。



挨拶される花田京都行政評価事務所長



講師の京都行政評価事務所浅野推進員

詳しい内容は省略させていただきますが、各委員が行政相談活動を通じ感じていることは、「住民はいろいろな地域で苦情や問題を抱えており、誰かに聞いてほしい」「関係する行政機関は委員が受けた相談については、後日、委員に結果報告等をして頂きたい」「住民苦情は現地、現場に駆け付ける行政であってほしい」「個人情報保護の壁があり、返事がもらえない」「この春から丹後地区では委員2人体制になった。相談者への対応に心強い」「政治的な難しい相談への対処は」等々、活発な意見交換研修ができました。

○尚、かねてから地相協ホームページに対する関心や協力についての件で、今回の研修において各委員さんにその課題についてお話をさせて頂き、理解を求めました。

平成 28 年 7 月 30 日

(丹後地区協 HP 委員 吉岡秀巳)